

大阪市・大阪府へのお米の寄付活動について

ジャパンクリエイトグループは、この度大阪府・大阪市を通じて
大阪府下の児童養護施設やこども食堂（約 40 箇所）へお米 7.5 トンを寄付いたしました。



創業以来、当グループは「社業を通じて日本経済の発展に貢献する」の経営理念のもと、CSR 方針「企業としての社会的責任を果たし適正な職場環境を整備する」の実践を通じ、持続的な企業価値の向上を目指してきました。安心・安全を最優先に、事業を通じて新しい価値を提供することが、日本経済の発展に貢献するものと考えています。

お米の寄付を行った経緯

新型コロナウイルス感染拡大により世界規模で経済活動がストップし、経済的ダメージは計り知れないものがあります。そのような中でジャパンクリエイトグループは、ビジネスの本質は消費であり売上を作ることだと考え、当グループ事業で扱っているものではありませんが、甲子園球場や学食に卸している米穀店の納品できず倉庫に積まれているお米を購入しました。

コロナ被害において事業主への一時的な補償もありますが、本来は扱っている商品などの消費によって本来の姿を取り戻さなくてはなりません。そうした中、リーマンショック時に西成区の施設へ寄付をした記憶から、子ども食堂との付き合いがあるという方の紹介を受け、自治体を通し施設へ寄付をすることとなりました。

ただ、お金を寄付するのではなく、コロナ被害にあっている事業者の商品を購入することで事業者を援助し、自治体から社会福祉法人や児童養護施設および子ども食堂などに適正に分配してもらうことにより双方への支援が出来ると考えています。



	内訳	合計
大阪府内の児童施設・こども食堂	3.5 トン	7.5 トン (約 40 施設)
大阪市内の児童施設・こども食堂	3.5 トン	
西成こども食堂	0.5 トン	

ジャパンクリエイトグループは今後もこうした取り組みを通じ、「事業の本質を追求する」をモットーに、社会の課題解決に向けて新しい価値の創造に挑戦して参ります。